

全 いわて国体2位入賞報告 国で準優勝!

3月14日(月) 市長室

2月20日から2月23日まで岩手県八幡平市で開かれた「いわて国体」の冬季大会スキー競技(ジャイアントスラローム競技(成年女子B))に出場し、準優勝に輝いた神岡町出身の船坂友希さん(25)が3月14日、都竹市長を訪問し入賞の報告をしました。

今大会には54人が出場し、49人が完走。日本のトッププレイヤーにも参加する中見事2位に入賞しました。都竹市長は「仕事がありトレーニングすることは大変なことです。引き続き後進の育成も含め頑張ってください」と話し、船坂さんは「2位に入賞できたので、来年も頑張ります」と話しました。



いわて国体準優勝を報告する船坂友希さん(右)

人 古川小学校で人権推進校感謝状贈呈式 権の花運動

3月9日(水) 古川小学校

飛騨地区の人権推進校に指定されている古川小学校で3月9日、人権推進校感謝状贈呈式(岐阜地方法務局高山支局主催)が行われました。

同校の福祉栽培委員の5、6年生19人と、隣接する飛騨古城特別支援学校の児童5人の計24人が昨年4月からヒマワリやナデシコなどをプランターで育ててきました。

この日は、同局高山支局の味藤幸司局長や市人権擁護委員らが訪問し、感謝状と記念品が贈呈され、収穫されたヒマワリの種は、菅田小学校(下呂市金山町)に引き継がれます。



感謝状を受け取る児童代表の6年生上畑ほのかさん

長 田近キヨさん100歳 寿を祝う

3月14日(月) 古川町金森町

古川町の田近キヨさんが100歳を迎えられました。

谷澤市民福祉部長からお祝いと花束を渡されると「ありがとうございます」と受け取られました。

長生きの秘訣を聞くと「牛はいつまでも寝ていないと言う母親の言葉を信念にしている。何があってもすぐ起きて、負けないという強い気持ちを持っていることです」と話しました。

田近さんは、河合町保の出身で、若い頃に大変苦労しましたが、衣料品店を一人で80歳過ぎまで元気に営んでいたそうです。



100歳おめでとうございます。田近キヨさん(中央)

え えごまフォーラム ごまの栽培を増やそう

3月11日(金) 市役所

飛系えごま出荷組合は3月11日、市と共催で「えごまフォーラム」を市役所で開きました。

えごまは健康ブームの波に乗り、需要が多く、全国的に品薄状態です。市内で栽培されたえごまも高値で売買されており、関連商品も売り切れが続いています。そこで今回、市内で栽培をする人を増やすことを目的に呼びかけました。

えごまの栽培に興味がある88人が参加し、中山間農業研究所の職員からえごまの特徴や栽培方法を、出荷組合からその取り組みや出荷方法について熱心に聞いていました。



講師の話熱心に聞く参加者

飛 飛騨市ラッピングバスのお披露目式 飛騨市を全国にPR

3月23日（水） 市役所

市では、飛騨市を県内外に広くPRするためのラッピングバスのお披露目式を行いました。

ラッピングは、濃飛乗合自動車（株）で運行する高速バス1台に施され、車体には古川祭やレールマウンテンバイクなどの写真がラッピングされています。

バスは、4月1日から1年間、高山バスセンター発着の高速路線（名古屋・東京・大阪）を走行します。

市長は「濃飛バスのご厚意もあり、ラッピングバスを走らせることができます。各地でPRして、観光客の誘客につなげたい」と話しました。



ラッピングバスの前でテープカットをする関係者

1 山之村小中学校で山っ子学習発表会 年間の財産と未来への希望

3月17日（木） 山之村小中学校

山之村小中学校の全児童生徒8人は、一年間の学校生活で学んだことや体験の振り返りなどの思いを語る「山っ子学習発表会」を開きました。

同校は本年度、小学生・中学生の卒業生がいないため卒業式がありませんでした。

この学習会は、卒業式の代わりに何か残るイベントとして企画され、地域の住民約40人が授業を参観し、発表した児童生徒8人のスピーチなどに耳を傾けていました。

スピーチでは「新1年生にいろいろ教えてあげたい」「顔を向けてあいさつできるようにになりました」など、一年間の成長や、新学期に向けての目標など順番に話しました。



想いを込めて発表する児童生徒たち

若 JA青年の主張全国大会最優秀賞受賞報告 手農業者が一致団結

3月23日（水） 市長室

2月17日に東京で行われた第62回JA全国青年大会の青年の主張でJAひだ青年部として発表した清水琢也さんが最優秀賞を受賞し、市長に報告されました。

「超限界集落の中心で、魅力ある農業をさげふ」と題して、山之村での農業を通じて過疎化への不安と新たに発見した自慢と魅力について発表しました。

清水さんは「今回の発表は、一人でやったわけではなく、たかはらの出荷組合のみんなと語ったり、文章を直したり、発表の練習をして受賞に繋がりました。仲間みんなで勝ち取った賞です。仲間にも恵まれてよかったです」と語りました。



受賞の報告に訪れた清水さん（右から2人目）

そ ビジョンセッション2015最終報告会 しゃそやぞ

3月21日（月） 飛騨市文化交流センター

飛騨市まちづくり協議会主催の「ビジョンセッション最終報告会」が開催されました。

ビジョンセッションとは、飛騨市で目指したい将来像と、そこに到達するための取り組み例などを市内の若者有志が5つのテーマ毎に議論し、まとめる事業です。

今回の報告会では、多くの市民が市の将来を考え、「自分ごと」として行動することを願い、飛騨の匠の技術伝承を目指した三寺まいりでの大工体験イベントや、飛騨の食を一品ずつ持ち寄って学び合う食事会など、自主的な実践を紹介しながら、若者代表が1年間の議論のまとめを発表しました。



1年間のまとめを発表する若者



地 消防車両購入に係る寄付金贈呈式 元の防災に貢献

3月28日（月） アルプス薬品工業(株)

アルプス薬品工業(株)は3月28日、消防車両の充実強化に充ててもらおうと650万円を市に寄付しました。

この日、都竹市長と市消防本部職員が同社を訪問。牛丸理社長が都竹市長に目録を手渡しました。

牛丸社長は「社会貢献の一環として寄付をします。今後も市で頑張っていきたい」と話しました。

都竹市長は「消防の現場指揮車を購入し、冬期間や災害時の対策は万全にします」と述べ、牛丸社長に感謝状を贈りました。

今後市では、平成28年度の予算に計上し、現場指揮車両の購入を予定しています。



感謝状を受け取る牛丸代表取締役社長（前列右から3人目）

古 平成27年度岐阜県芸術文化顕彰受賞報告会 古川祭が芸術文化で評価

3月24日（木） 市長室

3月23日岐阜市で行われた「平成27年度岐阜県芸術文化顕彰及び奨励表彰式」で、顕彰特別賞を受賞した古川祭保存会の役員が市役所を訪れ、その喜びを市長に報告しました。

この顕彰は、県の芸術文化の振興を図ることが目的で、今年度の顕彰は2名、4団体が受賞しました。

同保存会の駒会長代行は「みんなで祭を大事にしてきたから顕彰を受けることができた。祭行事を芸術文化として認められたことがすごいことだと思う。古いしきたりも含めて守っていきたい」と話しました。



受賞の喜びを語る駒会長代行

重 東大で試験観測開始 重力波天文学に貢献

3月25日（金） 神岡町茂住地内

東京大学宇宙線研究所重力波推進室では3月25日、梶田隆章先生がノーベル物理学賞を受賞したスーパーカミオカンデがある神岡町茂住で、世界中から注目されている「重力波」の観測装置「KAGRA」の試験観測を開始しました。

重力波とは、空間の歪みが振動となって伝わる現象で、アインシュタインが100年前にその存在を予言していました。

試験観測は3月31日までと4月25日までの2回に分けて行われ、観測は同推進室内の制御室で3交代の24時間体制でデータの確認を行います。

同室の宮川治助教は「今後は装置のアップグレードを行い、重力波を捕えて世界の干渉計に匹敵するような観測装置にしていきたい」と意気込みを話しました。



試験運転が始まった大型低温重力波望遠鏡「KAGRA（かぐら）」のコントロールルーム